

大使館情報

2020年11月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

- (1) 最高裁判所判事の任命
- (2) 首都第一コマンド幹部の釈放
- (3) 「緑のブラジル作戦」の延長

【外交】

- (1) ペルーとの AEO 相互承認の署名
- (2) 伯韓首脳テレビ会談及びボルソナーロ大統領とムハンマド・サウジアラビア皇太子とのテレビ会談
- (3) アラウージョ外務大臣のテレビ会談出席
- (4) 伯パラグアイ国境貿易の再開に関する文書の署名
- (5) オブライエン米国家安全保障担当大統領補佐官一行の訪問
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

3. トピックス

- (1) 新型コロナウイルス関連

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等 (10月発表の経済指標)

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査(フォーカス調査)によれば、10月30日時点で、GDP成長率予測については、2020年は▲4.81%で前週から変わらず、2021年は3.34%で前週(3.42%)から0.08%下落。インフレ率については、2020年は3.02%で前週2.99%から0.03%増加、2021年は3.11%で前週から0.01%下落。

(イ) 1日、地理統計院(IBGE)は2020年第2四半期(4~6月)の実質GDP成長率を前期比▲9.7%、前年同期比▲11.4%と発表した(第1四半期は前期比▲2.5%、前年同期比▲0.3%)。業種別では工業が▲12.7%、サービス業が▲11.2%と生産活動停滞の影響を強く受け、個人消費(▲13.5%)及び輸入(▲14.9%)も下落した。輸出は中国の需要増、リアル下落及び商品価格の上昇により前年同期比+0.5%と上昇した。

(ウ) 8月の鉱工業生産指数(季節調整済み)は前月比+3.2%と生産の回復が継続した。9月以降は緊急支援金の減額に伴う生産への影響が懸念されている。

(エ) 8月の小売売上高は、前年同月比+6.1%と4ヶ月連続で前年を上回った。観光や外食等の支出は依然として低迷しているが、自動車販売はコロナ感染拡大前の水準を12.9%上回った。

(オ) 9月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.64%、前年同月比+3.14%で9月単月では食品価格の上昇を主因に2003年以降最も高い上昇率を記録した。

(カ) 全国の失業率(6月~8月の移動平均)は14.4%となり、前月の13.8%から0.6%上昇、2012年以来の高水準となった。雇用者数は8,202万人で、過去最低記録を更新した。

(キ) 9月単月の貿易収支は61.64億ドルの黒字で前月比黒字幅は縮小したものの、前年同月比+62.1%と前年を上回る貿易黒字を維持している。1~9月累計では424.45億ドル(前年同月比+18.6%)となり、国内需要減少に伴う輸入減で黒字幅が拡大している。

(2) 経済政策等

(ア) 1日、ボルソナーロ大統領はパンデミック対応の緊急援助支給について、支給額を月額300リアルに減額して本年12月まで4ヶ月延長することを発表した。経済省によると同4~8月の緊急援助によって6,700万人が給付を受け、約900億リアルの追加財政支出が生じている。

(イ) 19日、伯外務省と経済省は、米国との二国間貿易経済協力協定(ATEC)の議定書に署名した。本議定書は、貿易円滑化及び税関協力、良き規制慣行、腐敗防止の3つの付属書からなり、二国間の貿易と投資を促進する事を目的とした貿易パッケージ。

(ウ) 21日、在伯米国大使館は、オブライエン米国家安全保障担当大統領補佐官が2日間の訪伯において、伯政府高官及び民間経営者との会合を行い、幅広い二国間問題について話し合ったと発表。

(エ) 22日、伯中銀は11月から開始する即時支払システム(Pix)のため、金融機関に対する登録と必要なテストのプロセスを10月16日に終了したと発表した。銀行、フィンテック、決済機関を含めた762の金融機関は、11月16日より、中銀が定義する要件に従って安全にPixを利用することが可能となる。

(オ) 28日、伯経済省は、パンデミックの影響で、2020年上半期の対伯直接投資(FDI)の金額が主要国中3番目(イタリアは▲74%、米国は▲61%に次ぐ)の下落率であったと発表。伯の下

落率（▲48%）は新興国の1～6月平均の下落率▲16%、ラテンアメリカの▲25%を下回っていた。

（3）金融政策

10月28日、金融政策委員会（Copom）は、政策金利（Selic）を2.00%に据え置くことを全会一致で決定した。政策金利を維持するのは2会合連続、次回会合は12月7日及び8日の予定。

（4）為替市場

10月の為替レートは、5.23～5.68 レアル/ドル台で推移。月の前半は、米国の追加経済対策の合意期待と、税制改革進展期待に伴いレアル高に振れる局面があったが、財政懸念や政権の財政運営に対する不安が重しとなり、10月下旬まで5.60 レアルを挟む展開だった。しかし、欧州での新型コロナウイルス再拡大に伴うロックダウン等が景気回復を遅らせるとの懸念が拡大し、一時5.79 レアル/ドルまでレアル安が進行した。

（5）株式市場

10月のブラジルの株式相場（Ibovespa）は、93,510～102,168 ポイントで推移。良好な経済指標に加えて、改革進展への期待から102,000 ポイントを回復。しかし、石油・鉄鉱石需要後退懸念の拡大に伴う商品価格の下落や、欧州の新型コロナウイルス感染拡大による景気先行き懸念が拡大、更に、来年以降の所得支援策を巡り財政懸念が拡大して、93,000 ポイント台まで下落した。

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

（1）最高裁判所判事の任命

2日、伯政府は、次期連邦最高裁判所（STF）判事としてカッシオ・ヌネス・マルケス連邦地方裁判所判事を指名。22日、伯政府は、上院本会議における承認を受け、同判事を STF 判事に任命した旨官報で告示した（注：11月5日就任）。

（2）首都第一コマンド幹部の釈放

10日、犯罪組織「首都第一コマンド（PCC）」の幹部と目されるアンドレ・オリヴェイラ・マセド被告の人身保護請求を受けて同被告の未決勾留を撤回する仮決定が下されたことにより、同被告はサンパウロ州内の刑務所から釈放された。同被告は、ボリビア又はパラグアイに逃亡したと報じられている。14～15日、フックス STF 長官による上記仮決定の差止め請求につき STF 大法廷にて裁決され、9対1の多数決によって同被告の勾留維持が承認された。

（3）「緑のブラジル作戦」の延長

26日、国家アマゾン委員会会長を務めるモウラオン副大統領は、法定アマゾンにおける軍隊の活動「緑のブラジル作戦」を2021年4月まで延長する旨発表した（注：延長前の活動期限は11月6日）。

【外交】

（1）ペルーとの AEO 相互承認の署名

2日、伯連邦歳入局は、ペルー国家税関税務庁（SUNAT）との間で AEO 相互承認に関する文書に署名した（注：伯連邦歳入局は、9月29日、ボリビアとの間でも AEO 相互承認署名式を行っている）。

（2）伯韓首脳テレビ会談及びボルソナーロ大統領とムハンマド・サウジアラビア皇太子とのテレビ会談

（ア）5日、ボルソナーロ大統領は、文在寅韓国大統領との間でテレビ会談を行った。
（イ）同日、ボルソナーロ大統領は、ムハンマド・サウジアラビア皇太子との間でテレビ会談を行った。

（3）アラウージョ外務大臣のテレビ会談出席

（ア）9日、アラウージョ外相は、ラーブ英国外務・英連邦大臣との間でテレビ会談を行い、貿易、技術、環境及び防衛の分野について協議した。
（イ）23日、アラウージョ外相は、ドムブロウスキス欧州委員会上級副委員長兼貿易担当欧州委員との間でテレビ会談を行い、伯の OECD 加盟及び EU メルコスール間の協定について協議した。

（4）伯パラグアイ国境貿易の再開に関する文書の署名

16日、アラウージョ外相及びリバス・パラグアイ外相は、二国間国境貿易の部分的再開に関する

る文書の署名式をテレビ会議形式で行った。

(5) オブライエン米国家安全保障担当大統領補佐官一行の訪問

ア 19～20日、オブライエン米国家安全保障担当大統領補佐官一行がサンパウロ及びブラジリアを訪問した。

イ 19日、伯米両国は二国間の貿易経済協力協定（ATEC）の議定書に署名。同議定書は、発効に関する一般規定及び締約国が採択した義務に関する協議メカニズムに加え、3つの付属書（①貿易円滑化及び税関協力、②良き規制慣行、③腐敗防止）から成る。

ウ 更に20日、伯経済省は、米国輸出入銀行（EXIM）との間で、二国間経済関係の強化を目的とした最大10億米ドルの覚書に署名した。

エ 同日、ボルソナーロ大統領及びエレノ大統領府安全保障局長官は、同米大統領補佐官と会談した。

(6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

ア 5日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置につき、一部要件を緩和した上で、同日より30日間延長する旨の政令第470号を公布した。

イ 14日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置につき、一部要件を緩和した上で、同日より30日間延長する旨の政令第478号を公布した。これにより、パラグアイから伯への陸路による入国が可能となった。

3. トピックス

(1) 新型コロナウイルス関連

10月21日、ブラジル連邦警察は、連邦警察ガイドラインの改訂を発表した（同日付で施行）。
（政令第18号：

<https://www.in.gov.br/en/web/dou/-/portaria-n-18-direx/pf-de-19-de-outubro-de-2020-283995940>)

その主な変更点としては、以下のとおり。

- ・2020年3月16日より停止されていた連邦警察が所管する移住関係手続きの締切りや有効期間（a contagem dos prazos migratorios no ambito da PF）の日数計算が11月3日より再開される。
- ・2020年3月16日以降に期限を迎えた、プロトコール、外国人登録証、その他の文書は、入国及び登録を目的として、2021年3月16日まで使用することが出来る。

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) オンライン・ビジネス講習会 (在クリチバ総領事館)

日時：11月19日(木) 19時～

場所：Zoom

内容：パラナ州の若手日系企業家間のネットワーキング強化を図るべく、パラナ日伯商工会議所青年部と連携して、同州若手有力企業家を講師に招いてオンライン講習会を開催する。

(イ) ブラジリア日本祭り (在ブラジル大使館)

日時：11月20日～22日(予定)

場所：Youtube

内容：日本文化紹介などバーチャルで様々な催しを行う。

(ウ) Música no Castelo (国際交流基金)

日時：8月15日～12月20日(毎月15日と20日の17時に発表)

場所：国際交流基金 Youtube

https://www.youtube.com/channel/UCBVCV7jgQZacAP78Ng_DTVA

内容：日本の伝統楽器を用いた演奏や、日本の伝統音楽等の演奏をウェブ上で発信していくもの。

HP：<https://fjsp.org.br/agenda/musica-no-castelo/>

Facebook：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3896503760379211>

Instagram：https://www.instagram.com/p/CGVw0kJDI_K/

(エ) Destaques da biblioteca (国際交流基金)

日時：毎月1回

場所：国際交流基金ウェブサイト

(<https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>)

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センターに収蔵されている図書資料等を紹介する事業。

(オ) BIBLIOTECA LITERÁRIA ONLINE (国際交流基金)

日時：隔月1回

場所：国際交流基金ウェブサイト

(<https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>)

内容：毎回1名の日本の作家にスポットをあて、様々な角度から紹介するもの。

HP：https://fjsp.org.br/dossie_literario/

FB：

https://pt-br.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3590902870939303?__tn__=-R

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CCd6KEKjb5u/>

(カ) Japão e Catástrofes: para refletir sobre o Japão frente às adversidades, em tempos

de pandemia do coronavírus (国際交流基金)

日時：不定期

場所：国際交流基金ウェブサイト

(<https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>)

内容：コロナの時代において、ブラジル人の日本研究者がみた日本文化と危機的状況の関係を考察するエッセイシリーズ。

HP：<https://fjsp.org.br/estudos-japoneses/artigos/>

FB：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3766846966678225>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CEv0tTMjbK-/>

(キ) Tradução em foco (国際交流基金)

日時：不定期

場所：国際交流基金ウェブサイト

(<https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>)

内容：ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者の活動を紹介するエッセイシリーズ。

HP：<https://fjsp.org.br/traducaoemfoco/>

FB：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3879903088705945>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CGH6nwpjh2U/>

(ク) Japão em Casa: Cultura Japonesa para ver, fazer e se divertir. COZINHA DA AKIKO (国際交流基金)

日時：11月下旬予定

場所：国際交流基金ウェブサイト

(<https://fjsp.org.br/destaques-da-biblioteca/>)

内容：家で簡単にできる日本文化体験をビデオコンテンツの形で配信していく事業。

HP：<https://fjsp.org.br/agenda/japao-em-casa/?fbclid=IwAR02uoayFYa56rb00mYH0bf-QwckEaTQtv4j-Te0vFTtmYeSgMcmVTNgLls>

FB：<https://www.facebook.com/FundacaoJapaoSP/posts/3734733903222865>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/CEWkrROD9SV/>

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

なお、2020年10月16日、フランスにおいて、預言者ムハンマドの風刺画を授業で取り扱った教師が殺害される事件が発生し、この事件をめぐるフランス政府の対応等に対する抗議を目的としたデモが世界各国・地域で行われている。預言者ムハンマドの風刺画問題をめぐっては、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）等がフランスに対する攻撃を呼びかけている。テロはどこで発生するかわからないので、十分にご留意願いたい。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2020C079.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

昨年8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域（ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏）を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・ロライマ州北部（新規）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏（新規）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsputhazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

本年8月6日付で内容が改訂されている。

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html